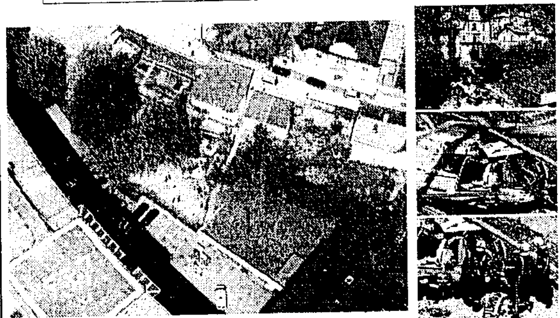
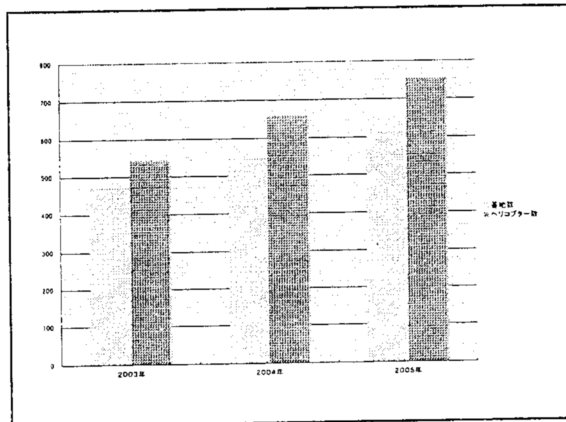
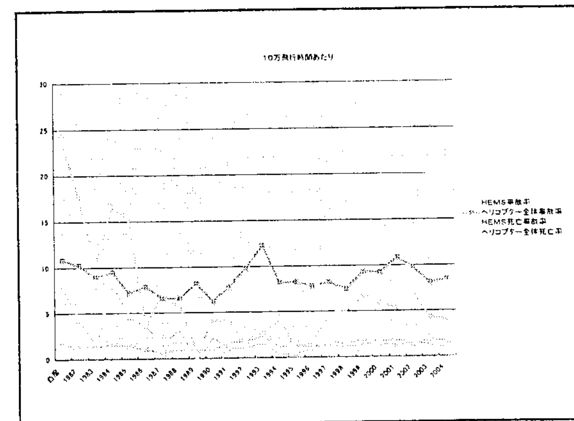
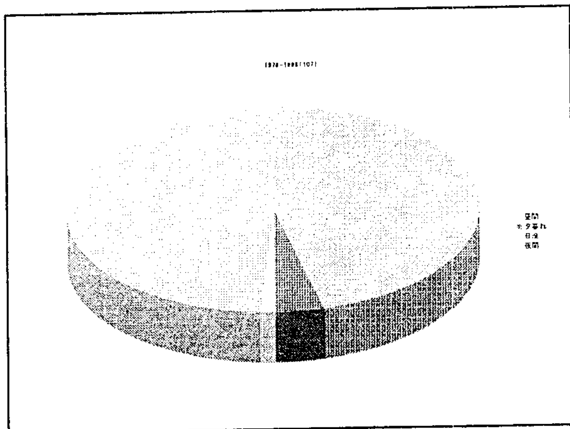
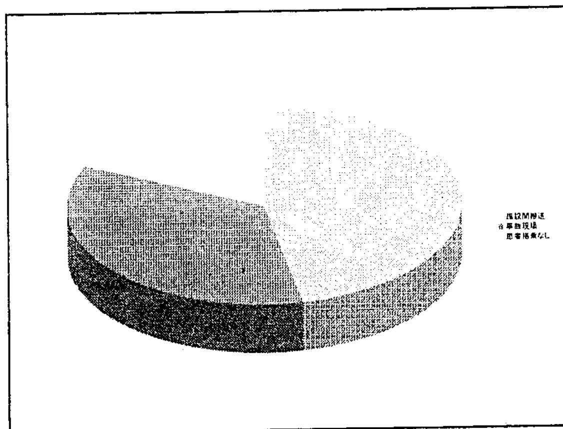
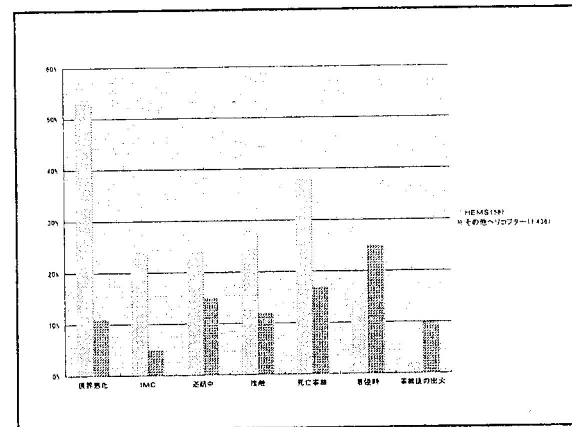












【岡田委員提出資料】

AIR MEDICAL ACCIDENT ANALYSIS: CONSOLIDATED PROBLEM STATEMENTS

Pilot Performance Issues:

Environmental Issues:

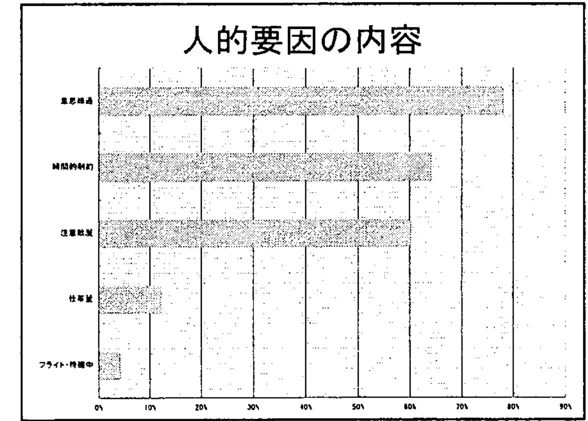
Aircraft Issues:

Infrastructure Issues:

Landing Zone Issues:

Corporate/Management Issues:

事故要因(NTSB1988)		
人的要因		68%
天候要因		30%
(死亡率)	(61%)	
機械的トラブル		25%
接触		20%



1988年のNTSBの勧告

- プログラムごとのマニュアルの整備(年次更新)
- 安全責任者などの役割の明確化
- フライトクルー訓練の実施
- 個人安全装備
- 勤務体制の基準設定(週48時間以内)
- 第三者機関の評価システム

小児・周産期医療の崩壊と対策

- 世界的な流れ(歴史)
  - 米国・ヨーロッパ・オーストラリアなど
- 日本
  - 狭い地域内ので医療システム
  - 広域搬送システムの欠如
- 欧米
  - 広域医療ネットワークの整備(人口300〜1000万人対象)
  - 24時間搬送システムの整備

今後の課題

- 安全性の確保と24時間体制の両立
  - 運航クルーの確保
  - 負荷のない勤務体制
  - 運航支援システムの確立
    - ヘリコプターIFR運航
    - GPS誘導システムの確立
  - 財政的な基盤の確立